

講義名	中国語中級 A		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この科目は原則として一年次の中国語A/Bで習い終えたレベル又はそれ以上のレベルを有する者を対象とする。中国語の「読む、書く、聞く、話す」の4技能について、より高度な中国語力の育成を目指す。
この授業では、中国語検定4級のレベルを意識して、教科書に沿って中国語の文法を習得しながら、会話の応用力を伸ばし、作文及びリスニングのレベルアップを目指していく。

到達目標

4. 技能に関する到達目標
聞く：日常会話の内容を聞いて分かる
話す：少し長めの自己紹介ができ、日常会話の質問と答えができる
読む：300字程度の中国語の内容を理解することができる。
書く：複文の作文ができ、内容の豊かな自己紹介文を書くことができる。

提出課題

毎回の授業に提出用のワークシートを配布し、講義のトレーニングの内容を書かせる。また講義に対する感想などのコメントを記入してもらおう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回の授業では、前回の提出物に書かれたコメントについて回答を行い、学習内容についての習得状況により、適切に講義の内容の復習をする。

評価の基準

原則としてオンライン授業に5回の欠席及び1/3以上提出物を締切日までに提出しなかった場合は失格とします。
期限を超えて提出する場合はペナルティの対象とする。

履修にあたっての注意・助言他

必ず教科書を購入して授業に臨んでください。
語学の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。

教科書	.中国語会話のコツ.	宮本大輔・温琳	金星堂	2300

プリント資料及び参考文献

授業計画

- 1.Live/授業のやり方の説明資料とワークシート配布：初級中国語についての総復習及び習得状況確認
- 2.Live/第1課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 3.Live/第1課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 4.Live/第2課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 5.Live/第2課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 6.Live/第3課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 7.Live/第3課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 8.Live/ワークシート配布：第1課-第3課のまとめ
- 9.Live/第4課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 10.Live/第4課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 11.Live/第5課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 12.Live/第5課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 13.Live/第6課 ワークシート配布：単語・文法ポイント
- 14.Live/第6課 ワークシート配布：本文・練習問題
- 15.Live/ワークシート配布：総まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

一課の内容を原則的に2回に分けて進めていく。
一回目は、単語テストのための勉強及び授業で習った文法ポイントの復習用の宿題を課す。
二回目は、本文の音読と別冊の練習問題を完成し提出してもらおう。
以上の課題をする学習時間は毎日50分程度が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整する。